

最新の消防車両を整備

阿久根地区消防組合長島分遣所

3月、阿久根地区消防組合長島分遣所に、新しい消防車両が整備されました。

この車両は、事業費約6800万円を投じて整備された車両で、少量の水に消火薬剤を加えて高い消火性能を発揮する最新の消火システム「CAFS (Compressed Air Foam System)」を搭載しています。

このほか、車両には油圧式のスプレッターやカッターが積載されており、車両事故などの救



↑整備された消防車両

助活動にも使用できるようになっています。

これまで使用されていた消防車両は平成6年2月に導入した車両で、配備後23年が経過し、機器などの老朽化が著しかったため更新されました。



↑車両には、油圧式カッターなどを搭載



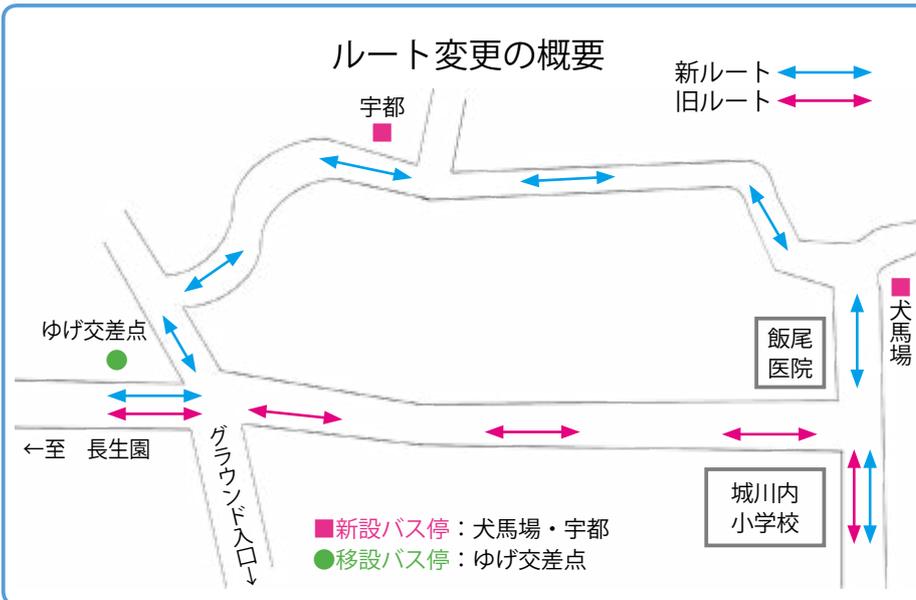
↑CAFSを搭載した消火システム

バスルートが変更されます

巡回バス「がらかぶ号」

4月1日から、巡回バス「がらかぶ号」の一部変更され、バス停が新設・移設されました。

ルートが変更された区間は、城川内地区の飯尾医院前から長生園前の区間です。変更後のルートおよび新設・移設バス停留所については、左図のとおりです。



子どもたちの健口を目指して

集団フッ化物洗口を推進

町では、歯と口の中の健康について「一生自分の歯でおいしく食べる」を目標に掲げ、実現するため、学校での集団フッ化物洗口を行うこととなりました。

フッ化物洗口とは、フッ化物を水道水に溶かしたフッ化物洗口液で、30秒〜1分間のブクブクうがいを行うもので、終わったら吐き出します。

集団で行うことで、家庭の生活環境に関わらず、平等に恩恵を受けることができ、結果として、健康な子どもたちが増えて、健康格差が縮小するといわれています。

現在、保護者への説明や学校との調整を進めています。歯みがきや定期検診に合わせ、フッ化物洗口に取り組むことで長島の子どもの「健口」を目指します。



↑フッ化物洗口をする児童（田尻小学校）